

単元名 【旧】物語から広がる世界(絵)

配当時間

6時間

- 単元の目標 (1) 表したい情景のイメージに合った表現方法を工夫することができる。
 (2) 心が動いた物語の情景を想像し、表し方や構成を考えることができる。
 友達と作品を見せ合
 い、形や色の造形的な特徴から、作品の表し方のよさを感じ取ることができる。
 (3) 心が動いた情景を想像し、絵に表すことに取り組もうとする。

標準的な展開例

06080206_001

【準備等】画用紙、色画用紙、作品カード、水彩用具一式、サインペン、コンテ、パス、クレヨン

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 今までに読んだ物語の中で、自分の心が動かされた場面を思い出し、構想を練る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書の作品の表現のよさや面白さ、工夫した点などについて話し合う。(言語活動) <p>★心に残った物語の場面を絵にかこう</p> <ul style="list-style-type: none"> 印象に残っている物語を思い出し、どんな場面か、そのときどんな気持ちだったのかを発表する。 簡単なスケッチをし、構想を練る。 <p>2 スケッチを基に、下絵をかく。</p> <ul style="list-style-type: none"> 画面構成を考えて下絵をかく。 <ul style="list-style-type: none"> 表したいことの明確化 描画材料の選択 表し方の工夫 表現を工夫する。 <p>3～5 場面がよく分かるように技法を工夫しながら、彩色する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 中心になるものの調子を整えながら、彩色する。 <ul style="list-style-type: none"> 中心になる色 対比する色 パスなど水彩絵の具以外の材料を組み合わせる。 全体の調子を整えながら、作品を完成させる。(活用) <ul style="list-style-type: none"> 全体の色の調和 <p>6 友達の絵を鑑賞する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 思いを作品カードに記入する。 友達の作品のよさをみんなで話し合う。(言語活動) 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書5・6下 P.26, 27 教科書の作品を基に主調色や描画材料、表現などについて理解を深めるようにする。 日頃から、読書に親しませておく。 発表を板書して、どういう場面かイメージさせる。 スケッチの段階で、教師は児童の思いを理解し、構図や表現の選択などを助言する。 下絵はスケッチを基に画面構成を考えてかかせる。 自分が一番表現したいものを中心にして、周りの様子をとりえさせる。 表現をより効果的にするために、省略や強調などをして構図を工夫することを伝える。 【評】活動を通して、感動した場面のよさを絵で表現しようとする「関心・意欲・態度」を評価する。 参考作品を提示しながら、技法面での工夫を紹介する。 中心になる色を決め、対比する色を意識させながら、画面の広がりや深まりを表す工夫ができるように支援する。 絵の具の上からパスでかくなどの工夫を助言する。描画材料を組み合わせることで作品に深みが出ることに気付かせる。 途中で、自分の意図しているものが表現されているか、確認させる。 【評】作品を通して、感動した場面の様子が伝わるような画面構成を考える「発想や構想の能力」を評価する。 友達の作品に対する思いやそのよさを感じ取らせる。 作品から受けた印象を友達同士で発表し合うと、お互いの感じ方の違いを知ることができる。

【備 考】

この単元では、今まで読んだ物語の中から、感動した場面を選んで、絵に表す活動をする。ここでは、自分の感動に基づいて自由に発想を広げ、その情景が分かりやすく伝わるような画面の構想を練ることが大切である。また、表現でも水彩絵の具にこだわらず、パスなど自分の思いに合う描画材料を組み合わせることも大切である。言語活動では、鑑賞の活動において、児童が絵に込めた思いを話し合わせる。